

とまこまい医療介護連携センター

医療・介護 通信

一般財団法人 苫小牧保健センター



在宅医療介護のニーズにお応えします!!



一般財団法人 苫小牧保健センター
理事長 沖 一郎

医療や介護のことでお困りの際に、相談すればワンストップで対応する機関として、昨年4月に医療介護連携センターを開設し1年が経ちました。いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域の医療と介護のスムーズな連携をはかることを目指して、市民の医療・福祉環境の充実に向けた取り組みを進めております。

この1年、市民の皆様には「とまこまい医療介護連携センター」を知っていただき、気軽にご相談いただけますように、様々な機会を通じて紹介してまいりました。当センターは、今後も在宅できめ細やかな医療・福祉サービスを求める方と専門機関の「かけ橋」となって、豊かな暮らしの実現に向けた活動を展開してまいります。また、在宅医療推進の仕組みづくりにつきましても、苫小牧市医師会の協力のもと取り組んでまいります。

市民の皆様におきましては、医療や介護のことでお困りのとき、お気軽にご相談いただけますよう、ご一読いただけると幸いです。

【発行】

2018年5月29日

とまこまい医療介護連携センター
苫小牧市旭町2丁目4番20号 ☎0144-37-0177
一般財団法人 苫小牧保健センター
苫小牧市旭町2丁目9番7号 ☎0144-35-0001

とまこまい医療介護連携センターの役割

- 医療や介護に関する相談支援
- 地域の医療・介護資源情報の把握と提供
- 医療と介護のコーディネーション
- 多職種連携促進のための研修

医療介護連携センターのしくみ





在宅医療の現場から

診療ニーズが高まっている

苫小牧市内では、高齢者の増加にともなって、自宅で治療しながら生活していきたいという方が、潜在的に増えている。今回、その現場取材した。現在市内では、在宅医療を希望する方に、苫小牧市医師会の医師が対応。訪問先では診察・医療処置をする傍ら、家族から生活状況を聞くなど、きめ細やかに対応していた。週1回、訪問診療を行う医師は「高齢化が進む状況で今後は訪問診療の必要性も高まる」と話していた。今後は、こうした希望に応えるためにも、医療・介護を総合的に調整する仕組みが求められている。

住み慣れた地域で 自分らしく暮らしていくために ～在宅医療・介護のワンストップサービスを目指して～

困ってませんか？ お気軽にご相談下さい

連携センターには、電話や来所で多数の相談が寄せられています。
相談者のご要望に応じて、各関係機関と連携をとりながら、きめ細やかな対応に努めています。

～寄せられた相談事例～

がんの療養のため市外の病院に入院している方で、ご家族が最後は自宅での看取りを希望しているが可能か？

医療・介護 関係者から

公営住宅で独り暮らしをしている母。心臓が悪く、心配で施設を勧めているが、本人は友人の多い今の家に住み続けたいと言っている。どうしたら良いか。

99歳の母。最近食欲がなくなり、寝ていることが多くなった。病院に連れて行くことが難しいので、往診してくれる医師はいないか？

認知症で入院中の母。点滴が必要だが容体は安定しており、自宅で訪問診療を受けながら療養したい。

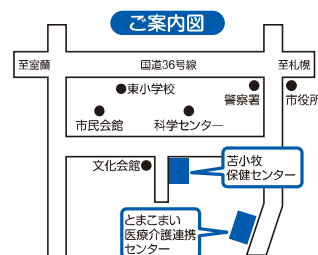
家族から



とまこまい医療介護連携センター

苫小牧市旭町2丁目4番20号
(苫小牧市医師会館3階)

TEL 0144-37-0177



連携センターとは…

～住民と医療介護をつなぐ架け橋に～

とまこまい医療介護連携センターでは、市民の皆さまに向けて、在宅医療・介護に関する相談窓口を開設しました。連携センターに相談することで、スムーズにサービスを受けられるように、関係機関につなぎます。

最適なサービスをコーディネート

医療や介護の専門機関(職)が連携して、患者さんに最適なサービスを提供するために、医師会・歯科医師会をはじめ、専門機関の協力を得て、コーディネーションに必要なルールも検討しています。医師会では、在宅医療推進委員会を立ち上げて、患者さんが安心して在宅医療を続けられる環境づくりを協議。在宅療養している方が、体調悪化した場合にスムーズに入院し、適切な治療を受けて回復後、再び在宅に戻るしくみについて、連携センターも関わりながら体制づくりを進めています。

多職種研修で連携強化

～顔が見える関係づくりを～

連携センター主催で、在宅医療・介護の連携を進める多職種研修会を昨年秋に開き、医療・介護に従事する13職種170人が参加。「在宅医療・はじめの一步～チームで支える高齢者ケア」と題して、静明館診療所(札幌市)の大友宣医師は「在宅医療の充実のためには、医療機関と訪問診療や訪問看護、ケアマネジャーなど多職種の垣根を越えたチームワークが必要」と強調。「在宅医療の壁」をテーマに、現状の課題、連携強化に向け意見交換。参加者から「互いに顔が見える関係づくりの機会を増やしてほしい」との声が多くあがった。



資源情報のホームページを 充実しました



関係機関の協力を得て、今年4月から連携センターのホームページに、病院・薬局、介護事業所・施設等の資源情報を載せています。ご自宅に近い地域包括支援センター、訪問診療ができるクリニック等も簡単に見つけることができます。是非ご利用ください。

ホームページはこちらから

<http://toma-renkei.jp>

苫小牧保健センター トピックス



胃がんが早くみつかる 内視鏡検査をうけましょう

一般財団法人 苫小牧保健センター

早期胃がんの約9割が内視鏡検査で見つかっています。苫小牧市では、2017年度から胃がん検診に内視鏡検査を東胆振・日高圏域で初めて取り入れて、がんの早期発見、治療に有効な取り組みを進めています。50歳以上で、偶数年齢の市民なら2000円で受けることができ、70歳以上は無料です。総合健診を受けている人も対象となります。

検査を受ける方は、血圧測定と検査説明、問診を受けた後で、極力身体に負担がかからない方法で検査を行います。鼻もしくは口から内視鏡を入れて喉頭(こうとう)から胃、十二指腸までくまなく観察します。時間は3〜5分ほど。検査を実施した医師に加え、もう一人の医師がしっかりと画像を確認する「ダブルチェック体制」でがんの早期発見に努めます。

☆受診者の声



内視鏡を鼻から入れることで検査中もお医者さんとお話しができて痛くなかったです。
(青雲町 女性 66歳)



検査中でもモニターで映像を見ながら医師の説明を受けられて安心しました。
(じらかば町 男性 73歳)

☆医師のアドバイス



現在は内視鏡の精度が高く、小さながんでも発見しやすくなりました。(病巣があれば)早く見つけて治療を進めることで回復につながります。

苫小牧市医師会
苫小牧保健センター理事
加藤茂治 医師

苫小牧市の乳がん・子宮がん検診(同時受診)



土・日曜日(年6回)のみ実施しておりました乳がん・子宮がんの同時受診を今年度から月2回程度、平日に実施します。可能な限り検診スタッフは、女性での対応となります。



一般財団法人 苫小牧保健センター
北海道苫小牧市旭町2丁目9番7号 ハスカッププラザ
TEL 0144-35-0001

一般財団法人
苫小牧保健センター

苫小牧呼吸器内科クリニック



苫小牧市双葉町3丁目7番3号(旧北海道立苫小牧病院跡) TEL (0144) 35-0002 FAX (0144) 35-0008



診療科目/内科、呼吸器内科
診療日/月曜日～金曜日
受付時間/【午前】 8:30～11:30
【午後】 13:30～16:30

診療時間/【午前】 9:00～12:00
【午後】 13:30～17:00
休診日/土曜日、日曜日、祝日
12月29日～1月3日
院長/鈴木明宏

